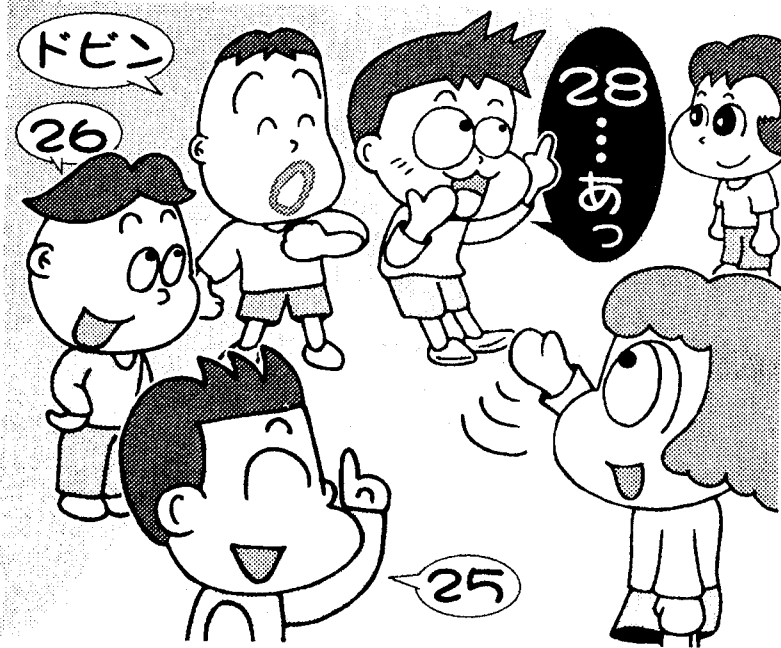


あそびのレシピ



だれかの間違い全員で解決

ドビン

「私だけ間違えない自信がある」「大人だから間違えるはずがない」などと、変な自信を持っている人がいます。けれども、人は誰でも間

違いを犯すものです。いったん間違えると、その次の行動にも影響が出てきます。今回は、誰かの間違いに気が付くことでみんなで解決策を探し、達成感を味わうゲームです。

単に「私は間違えていない」というのではなく、グループのためにどんな行動をすれば最適なのかを考えながら遊んでみましょう。

【人数】15・40人

【場所】参加者全員が輪になれる広い場所

【道具】なし

【遊び方】

①全員で輪になり、中央部分を向く。リーダーは輪の中に入って、手刀（ジャンケンのパーの手を縦にする）で一人一人を指で確認。指された人から順番に「1、2、3…」と、リズムカルに番号を言う。

②全員が数を言い終わり一周したら、今度は「7」のつく数の人（7、17、27など）は、数ではなく「ドビン」と言う。「…5、6、ドビン、8…」というように。

③いよいよ本番。今度は、今までに加えて7の倍数（7、14、21など）も「ドビン」と言う。

④間違えた人がいたら、その隣の人から「1、2…」と再び始める。目標は50。

⑤17、27、28などは間違いやすい。また、間違いに気づかない場合もあるので、みんなで間違いに注意し、間違いを繰り返さないためにはどうすればいいのか考えてみよう。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092（882）0363